



王 馳景 (Chijing Wang)

博士課程／睡眠科学・生体信号AI — 東京大学大学院

東京都 | shizukurocalicocat@gmail.com | wang.chijing@s.h.k.u-tokyo.ac.jp
chijing-wang.com | Google Scholar | github.com/ChijingWang | LinkedIn

■ プロフィール

東京大学大学院 (HeiLab) 博士課程に在籍。割澤伸一教授・伴祐樹准教授の指導のもと、脳波・心電・皮膚電位・呼吸などの生体情報とAIモデルを統合した睡眠の質の定量評価指標の開発、および空調などを用いた睡眠環境の適応制御による温熱快適性・回復の向上に取り組む。RAGシステムの設計・実装やVLMを用いた画像認識など、AIエンジニアリングの実務経験を持ち、具身AIと次世代ウェアラブルセンシングに取り組むスタートアップElephaneのチームメンバーとしても活動。研究分野：睡眠科学、ヒューマンコンピュータインタラクション、生体信号解析、AI医療技術。

■ 学歴

博士後期課程、環境工学 — 東京大学

2024.10 - 現在

研究：生体信号（脳波・心電・皮膚電位・呼吸）とAIモデルを用いた睡眠の質・心身回復の定量化。

修士、環境工学 — 東京大学

2022.10 - 2024.09

論文：特徴量数を削減した睡眠時生体情報による日中生産性の推定。

学士、機械工学 — 東京都立大学

2018.04 - 2022.09

卒業論文：スマートハンドルデバイスを用いた高齢者の上肢筋力のシームレスな測定手法。

■ 職歴

産学共同研究（コンピュータビジョン） — 東京大学

2026.04 - 現在

道路インフラ関連企業との共同研究（成果未発表のため詳細は非公開）。

- インフラ点検写真向けに、学習不要の画像セグメンテーション・パイプラインを構築中。設備の種類ごとに数組の見本を与えるだけで対応でき、データセット収集や再学習が不要。
- VLMのFew-Shotプロンプトによる対象の定位とSAM 2.1による画素単位の領域抽出を組み合わせ、信頼度の低いマスクは自動検証で再選択・棄却してから後段の状態判定へ渡す。
- VLM出力の形式不一致や応答の途中切れに対し、頑健なパーサと自動リトライを実装して安定化。

睡眠専門家（スリープアドバイザー） — Lavie Innovations Pte. Ltd.

2026.07 - 2026.09

- 法人顧客向け「従業員睡眠健康モニタリングプログラム」の立ち上げに従事（パート・リモート）。

データサイエンティスト — 株式会社松尾研究所

2025.06 - 2026.06

- オフィス内の従業員の移動・行動パターンと業務生産性の関係を定量化・可視化するアルゴリズムを開発。
- 長期間・大規模な実験データに対し先行研究をもとに仮説を立案し、統計的検証を繰り返してオフィス設計・従業員パフォーマンス向上に貢献する知見を導出。
- クライアントと密に連携し、成果を実務ニーズに直結。成果はJSAI2026にて発表。
- イトーキとの共同研究はプレスリリース（2026年7月）でも紹介。

AIエンジニア — 株式会社metatech

2024.12 - 2025.09

- AIとメタバース技術を組み合わせたAIレセプション（AI受付システム）を開発。
- 利用シーン（ホテル・観光地・学校など）ごとに専用データベースを切り替えて応答する仕組みと、音声認識による問い合わせ対応・施設案内機能を構築。デモ版は2025年4月のTeamz Web3 Summitにて展示。

研究補佐 — 東京大学 インクルーシブ工学連携研究機構 (RIISE)

2024.04 - 2026.06

共創空間デザインプロジェクト：良質な睡眠環境の実現。

- 睡眠中の心電・皮膚電位・呼吸・体動など多種類の生体信号を解析し、翌日の生産性向上につながる良質な睡眠の条件を定量的に解明。
- さらにリアルタイム生体情報を用いたエアコン自動制御システムを構築・効果検証。国際学会5件・国内学会3件で発表。

アルゴリズム開発 インターン — 株式会社Healthcarevision

2023.09 - 2024.09

- 非侵襲的光学式血糖値計測アルゴリズムを開発。指に光を照射し、血管からの反射光スペクトルを学習データとして機械学習モデルを構築し、針を刺さずに血糖値を推定。
- ±15%以内の推定精度を達成し、本デバイスは2024年のCESにて展示・好評。

2領域に取り組む初期段階スタートアップ。

- LLM検索環境でのブランド露出を高めるGEO/AIウェブサービスと、AIメガネ・BCIウェアラブルを含む具身AIハードウェアの2領域に取り組む。
- センシング・生理信号処理の方向性を担当。

■ コンテスト

チームリーダー — 第9回データサイエンスコンテスト（東京大学）、Mikkiチーム

2026.06 – 2026.09

数理・情報教育研究センター 産業界コンソーシアム主催の実データ分析コンテスト。20以上のチーム中、特別賞を受賞。

- ADKマーケティング・ソリューションズ提供の消費者調査データを用い、「コラボするIPをどう選ぶか」をテーマに、約3か月でデータ分析・事業提案・ユーザーインタビューまでチームを率いて推進。
- 説明的Raschモデル（項目反応理論）で個人の購買傾向とIPごとの購入ハードルを分離し、学習に用いていない年度のデータで検証。
- 企画担当者が会話で候補IPを比較できるAIエージェント「Mikki Copilot」（出典付き回答）を開発し、営業・コンサルティング経験者への試用インタビューを踏まえて事業価値と実証計画を提案。

■ 主な発表

国際（筆頭著者）

1. Wang C, et al. "Differential Contributions of Physiological Features Across Early, Mid, and Late Sleep Phases to Next-Morning Cognitive Performance." *BIOSIGNALS* 2026.
2. Wang C, et al. "Closed-Loop Air Conditioning Based on Physiological Signals to Mitigate Thermal Stress During Sleep: A Pilot Study." *Augmented Humans Intl. Conf. (AHs 2026)*, Okinawa, Japan.
3. Wang C, et al. "Estimating Daytime Productivity from Sleep-Time Biosignals with a Reduced Feature Set." *World Sleep*, 526, 2025.
4. Wang C, et al. "Constructing a Transformer-Based Model to Infer Daytime Productivity from Biometric Information During Sleep." *Human Systems Engineering and Design* 158 (2024): 175.

+ 国内学会発表4件（JSAI、IPJS、JSSR）。

■ 受賞歴

- 特別賞、第9回データサイエンスコンテスト（東京大学 数理・情報教育研究センター） 2026
- 若手研究者奨励賞（Young Investigator Award）、アジア睡眠学会 2025
- 味の素奨学金、味の素奨学会 2025-2026
- 非侵襲血糖値モニタリング デモ展示、CES 2024（株式会社Healthcarevision）
- ベストプレゼンテーション賞、AWS Robot Delivery Challenge（カスタマイズ部門） 2021
- 文部科学省外国人留学生学習奨励費、日本学生支援機構（JASSO） 2018-2019 & 2016-2017
- ベスト16、イチョウ杯英語ディベート大会 2019
- 中国情報学オリンピック地方大会 入賞 2014

■ スキル

言語	中国語（ネイティブ）、日本語（ビジネス）、英語（ビジネス）
プログラミング・AI	Python, PyTorch, TensorFlow, scikit-learn, MATLAB, R, C++; 信号処理・時系列解析; LLM / Hugging Face API; RAGシステム設計（チャンク最適化、ベクトルDB: Chroma / FAISS / Pinecone / pgvector）; マルチモーダル生体信号融合・リアルタイム取得（Biosignalsplux）; 画像認識（SAM 2.1によるセグメンテーション、VLMのFew-Shotプロンプト）
ツール	Git/GitHub, Jupyter, VS Code; Unity, OpenCV, TouchDesigner; Firebase, AWS (Polly, S3), Google Colab; Photoshop, Canva
ソフトスキル	英語ディベート（イチョウ杯ベスト16・8）; 研究発表・ポスター作成; 学際的チームワーク・プロジェクトマネジメント